



西原町

ぎっかひだより

今回の表紙題字

西原南幼稚園

あだにや はな

安谷屋 花さん

9月議会



2021(令和3)年
12月1日発行

No. 90



西原剣道クラブ

子どもたちみんな仲良く元気いっぱいです！
是非見学だけでも気軽にいらしてください。

稽古日 火 金 19時～21時
連絡先 098-944-3325 (代表 手登根)

心技体

西原剣道クラブ

12月3日(金)午前10時 12月定例会開会予定

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。



いじゆ さとる 伊集 悟 議員

問 中学校での学力の落ち込みは沖縄だけの特異な状況だが原因は。

教育総務課主幹 いろいろな想定される。推測だが小学校で過剰な取組もあったかもしれない。5月のテスト前の約1年間、どういう取組をしたのか。小学校での学習課程をきちんと学べたか等、中学校との引継ぎも中学校の反省すべきこと。

■学力格差が出る前の低学年に手厚い学習支援を！

問 大阪の箕面市で2.5万人の子どもデータを調査。結果、貧困を背景に小4から学力格差が広がり、年齢を増すごとに貧困世帯は低学力へ、非困窮世帯は高学力へ固定化し、なかなか脱出できない。格差が広

がる前に適切な支援が必要との結論。沖縄は貧困率が高く、もっと厳しい状況だろう。中学の学力の課題解決と貧困の連鎖を断ち切るためにも文教のまちとして、格差が広がる前の低学年への手厚い学習支援を求めたい。

町長 貧困対策を含めて、格差是正をしないではいけない。国の予算をしっかりと勝ち取り、子どもたちのために充てたい。教育委員会とも課題を掘り下げ、前向きに対応すべきだと考えている。

教育長 貧困の連鎖による教育格差があってはならない。担任、学年主任、教頭、校長も含め、この視点に立ち、入学時から一人一人に寄り添う教育指導、授業改善が求められる。

■地域の通学路の安全確保を

のような基準で指定しているか。

建設部長 (1) 県に災害報告を行い、10月5日に災害査定を予定。その後、災害事業で復旧工事の準備に取り組む。(2) 傾斜地帯における傾斜部分の角度や高さ等を基準としている。

■騒音測定器の設置について

問 普天間飛行場から離着陸する航空機は、本町上地区の上空を日夜飛行し、騒音、振動、電波障害が発生している。上地区に騒音測定器の設置を求めたい。

町長 平成24年のオスプレイの配備後も騒音や振動が発生。平成27年に県が測定を行ったが現在は終了。日中のみならず夜間の飛行も確認され町民から

問 呉屋の呉屋・上原線に狭小箇所があり、見通しも悪い。車同士が鉢合わることも頻繁。先日バックした車両が登校中の児童に接触しそうだったとの相談を受けた。地域からカーブミラーの設置の要望もあったと思うが状況は。

土木課長 今内部で担当係と現地調査し、対策に向けて検討中。

その他の質問
○夏休み延長、臨時休校時の学習及び感染対策
○コミュニティ・スクールの導入準備

苦情もあり、県に再度要請し、是非実施できるような方向性で、しっかりと対応したい。

■空地対策について

問 8月に坂田ハイツB地区の裏の空地が整備されている。目的及び町への説明は。

建設部長 所有する業者によると不法投棄が多く、現地調査を行い、今後土地の活用を検討したいとのこと。当該土地付近は市街化調整区域であり開発行為申請が必要になる。

その他の質問
○新型コロナウイルスについて
○新型コロナウイルス接種について

学校、家庭、地域との協働による心の教育を推進し食育、保健、安全教育など生活と関連を図った健康、体力づくりを推進していく。

その他の質問
○新型コロナウイルス感染症拡大防止について
○公共工事による住宅移転の状況
○農業振興について
○私印の今後について
○町政運営について監査委員に伺う
○町内児童生徒の学力について

■歌碑建立について

問 「月桃」の歌は県内、県外の小学校の平和学習でもよく歌われて、戦争の悲惨さと平和の尊さを多くの県民に啓発し、親・子・孫へと次世代に引き継ぐ役割を担っている。町の復帰50周年事業として、「非核反戦平和都市」を宣言する西原町

の各種平和事業にも貢献している「月桃」の歌碑建立を願いたい。

町長 月桃の歌は本町在住の海勢頭豊さんの作詞作曲で県内小中学校の平和学習等によく歌われている。また、全国ネット番組でも使用され、県外でも愛されている曲である。復帰50周年記念事業として、取組の方



まえさと こうしん 前里 光信 議員

■西原町の人口について

問 隣の南風原町との差（5千人）がどんどん広がっている。今後のまちづくりとも関連して心配しているが、町長はどう考えているか。

町長 隣の南風原町と比較して確かに人口規模、財政規模も大体近

法や実施の在り方等を含めて前向きに検討したい。

■土砂災害警戒区域指定について

問 (1) 7月に翁長一号線の土砂崩落があり、現在も一部份間通行止めになっている。復旧の見通しは。(2) 土砂災害警戒区域はど

いということ、これまでも何度か言われてきた。その中で、この人口の差がなぜ出てきているか。まず区画整理の導入について、南風原町は先駆けてやっている。これがほとんどその周辺が整備をされ、今建物が立地しているという形。それからあと一つ大きいのは、やはりソフト面において子育て支援とか、そういうのをしっかり手だてをしてきたのではないか。西原町においても、そういった意味では西地区の土地区画整理事業をはじめ、今用途区域の、那覇広域都市計画区域の区分見直し、それもやりながら、しっかりその人口増加政策をとっていききたい。ソフト面においては子供たちの支援をしっかりとやっていくことによって人

■今後の学校教育について

問 今後の学校教育、その対応、心意気を伺う。

口も増えてくると思う。

教育長 御承知のとおり昨年度IGAスクール環境整備事業で、校内ネットワーク環境の整備と児童生徒一人一人のパソコン配備をした。今後の学校教育については、整備した一人一台端末を活用して個別最適化された学びの充実を図り、主体的で、対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を推進し、児童生徒の自ら学ぶ意欲を高め、情報活用能力を含む確かな学力の向上を図る。また、心身ともに健やかで、たくましく生きる幼児、児童生徒を育成するため、

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。



のぶこ
ぎま 儀間 信子 議員

■町民への対応!!これではないのか!!

問 7月30日の() 2、3日前からの風や雨で家の前の電線に隣の土地から木の枝が乗っかかり、その重みで線が垂れ下がっている。さらに下がると線が切れ停電や車の出入りにも支障が

あるとの思いから危険を感じ、町役場に状況を説明、対応を求める電話をするも動くことはなかった。
総務部長 電線が切れそうだと電話があったようだが、電力会社での対応になる旨を話し、相談者も納得した。基本的な対応として、状況にもよるが現場に赴き判断することとが大切だ。職員への周知徹底を図っていききたい。

■「二」のような対応で「町民の命と暮らしが守れるのか」

問 事の状況はこうだ。町民が7月30日に役場に電話を入れる。木の状況を説明するも「木を切ることはできない。連絡先は個人情報で教えら

れない。」と。役場から相手方への連絡も「どういうことにタッチしたことがない。」との返答。現場にも足を運ぶことなくこれが町民への対応だ。私は個人情報保護は大事だと認識している。しかし、災害を未然に防ぐ防災の観点から言っても、行政の方から相手方に連絡を入れるべきだ。
副町長 7月30日以前の2、3日前に電線が切れて危ないという電話があったと聞いている。これは個人情報云々ではなく、生命、財産に影響がある場合は現場に行って状況を確認することが一義的な当たり前の話であり、現在もそうやっているが、質問を受けて、いま一度周知を図っていく。

問 西原町には「空き地管理条例」、「空き地の管理の指導について」がある。町民に対する行政の対応はとも大切だ。町民が何か起こった場合に相談や頼りにできるのが身近にある行政だ。職員には町政の一翼を担う、一端を担う、自覚と誇りと心構えが必要だ。緊急時、就業外等の連絡先はどこか。

副町長 役場で守衛が電話を受け、担当課職員に連絡する。

その他の質問
○遊歩1号線道路崩落について
○コロナ対策としての国保税の減免について

■行政のデジタル化

問 多くの市町村がLINEを活用して情報発信を行っているが、本町も導入すべきではないか。
総務課長 LINEについては、有効性は高いと認識している。人員体制・予算など課題を踏まえて検討したい。

問 デジタル関連の環境整備・組織体制の整備をすべきではないか。
総務課長 令和4年度採用で即戦力の実務経験者募集をかけて取り組んでいる。

その他の質問
○コロナ禍での教育現場の現状について
○コロナウイルスワクチンの接種状況について

■ネーミングライツ制度の導入を!

問 本町の公共施設へのネーミングライツ制度導入に向けた取り組みの現状は。
町長 今年7月に基本方針の策定と選定委員会設置要綱を制定をした。現在、公募に向けた作業を進めている。



しゅんたろう
ぎま 儀間 駿太郎 議員

問 町内でネーミングライツ制度が導入可能な公共施設は何箇所あるか。
企画財政課長 6箇所を想定。西原運動公園・東崎公園・イルカ公園・上原高台公園・町立図書館・さわふじ未来ホールとなっている。

問 今後、PPP/PFIを含めた民間との連携を積極的に行うべきではないか。
町長 財政状況が厳しい中、同手法を導入し、財政負担を軽減させることは大変有意義である。

問 本町は今後、前向きにPPP/PFIに取り組んでいくという方向性が。
企画財政課長 各公共施設の更新に

とが困難な自宅療養者や自宅待機者に対し、生活に必要な食料品等の支援を9月6日から開始している。この事業は、西原町社会福祉協議会が実施しているフードバンク事業にて対応している。

■国道329号バイパス延伸の課題

問 国道329号バイパス延伸に伴い、収用される企業が多数ある。工場移転について用地以外の課題はあるか。
町長 国道329号西原バイパスの延伸に伴い、企業が移転するだけの話ではなく、そこに関わる、許認可の

■コロナ自宅療養支援策

問 新型コロナウイルス感染症対策について。新型コロナウイルス感染症に感染した自宅療養者の世帯への支援策は。
福祉部長 新型コロナウイルスに感染し、親族等から支援を受けるこ



ひろふみ
みやざと 宮里 洋史 議員

■教育現場に作業療法士を

問題も出ている。その中において、実際に収用に係る皆さんで組織化をして、その会長から私のほうに連絡があり、今議会が終わる次第、役員の方と一緒に、まずはこういう形で組織ができたという情報交換と、彼らが思っている思いというのをしっかり行政にも伝えたいということであるので、私もしっかりそれについては対応していきたいながら、その国道329号の事業が早急に図れるような体制づくりを一緒にやっていきたいと考えている。

問 特別支援教育が重要視される中、教育支援員や臨床心理士を

はじめ言語聴覚士、作業療法士、理学療法士等の活用も社会的に取り上げられている。町の見解を伺う。
教育総務課主幹 教育委員会としてもやはり拡充、要するに小学校、中学校に広げていけるかというところは、学校の要望を確認した上で検討する余地はあると思う。

その他の質問
○都市計画、農用地、町道等
○保育士確保の進捗状況は
○文教の町のビジョンは

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。



やましろう かつたか
山城 勝貴 議員

査が必要になるため調整を図ることも含めて検討していきたい。

問 コロナ交付金を活用し、コロナの影響でセンターを利用された方への助成は出来ないか。

答 福祉部長 利用料助成の拡充については、構成市町村と協議をしていきたい。

問 コロナ差別、偏見に子ども達が自ら考え、思いやりに触れる機会を

答 教育部長 啓発動画や指導例、ワークシートなどの関連教材を各学校に配布するだけでなく、家庭とも連携

問 新型コロナウイルスによる差別、偏見を生まないよう正しい理解を深めるための各学校の取組は。

答 教育部長 啓発動画や指導例、ワークシートなどの関連教材を各学校に配布するだけでなく、家庭とも連携



おおしろう よしたか
大城 純孝 議員

医療機関での個別接種ができる体制を整えている。

問 学校での子供たちの新型コロナウイルス対策と、また保育園、学童での対策について伺う。

答 福祉部長 保育園及び学童クラブにおいては、施設での3密を防ぐ目的で保護者に対して家庭保育の協力願いで登園自粛を要請し、特別保育に切り替え

問 待機児童の主な要因は、保育士不足と言われているが、公立保育所と認可保育園での不足人数は。

答 福祉部長 今年4月時点の保育士不足数調査では15人である。

問 認定こども園創設への取り組み

答 町長 町内幼稚園に対する保護者からの要望意見は。

問 認定こども園設置によるメリット・デメリットは。

答 総務部長 町立幼稚園を認定こども園にするのか。

し各学校では工夫を凝らして取り組んでいる。

問 給食センター建て替えについて

答 早期に建設検討委員会などを設置して今後の方向性を議論することが必要ではないか。

問 長寿命化計画を進めているだけでなく、PPP/PFIの可能性も含めて内部では話している。今後は、関係課も含めてその議論を進めて行く。

問 琉球大学医学部跡地利用について

答 自主財源につながるような議論や地域住民の生活状況、環境に

ることで登園する児童数を抑える取り組みを行っている。

問 各学校では手洗いの徹底、マスクの着用、不織布のマスクの推奨、換気の徹底、給食時に黙食の実施、併せて休憩時間の短縮と児童生徒の交流や接触の機会の削減、健康観察シートの記入等の確認を行っている。

問 次期沖縄振興計画について

答 次期沖縄振興計画の中で東海岸サンライズベルト構想が議論されているが、西原町の重点施策はどう考えているのか伺う。

答 町長 マリントウンMICEエリアの核となる大型MICE施設は、サンライズベルト構想において重要な位置



▲ 東海岸サンライズベルト構想資料

も園に移行した場合の効果としては、町長の答弁にある①、②、③、④、⑤などの保護者ニーズの拡充による幼児教育の質の向上を図ることができると、一方で懸念される事項として、保育士等人員の確保、保育者の専門性の向上、小学校との連携が弱まるのではということが挙げられる。

問 移行スケジュールは。

答 総務部長 本年度中に基本方針の策定と運営法人の選定を行い、令和5年度から移行スタートさせ、7年度までに完了させたい。

問 西原東小学校は建て替えを予定しており、そこは抜きにして3園は、いつ頃、認定園にするのか。

答 企画財政課長 当初、坂田幼稚園と西原幼稚園を令和5年度同時に法人

も配慮が必要であり、雇用の創出も含めた上で町としての意見をその都度発信していかねばいけないのではないか。

問 西原町のこれまでの現状の件や課題等を含めて、これから地域の活性化につながることで、財政面にも特に町の財政が潤うような、そういった事業の内容を説明した。これまで琉大が首里キャンパスから西原町の今の上原キャンパスに移転してきたときの経緯も踏まえて、どういった思いで西原町が琉大を迎えたのかという内容もしっかり訴えながら、特に地域が活性化し、財源を生むような訴えをしていきたい。

問 西原町これまでの現状の件や課題等を含めて、これから地域の活性化につながることで、財政面にも特に町の財政が潤うような、そういった事業の内容を説明した。これまで琉大が首里キャンパスから西原町の今の上原キャンパスに移転してきたときの経緯も踏まえて、どういった思いで西原町が琉大を迎えたのかという内容もしっかり訴えながら、特に地域が活性化し、財源を生むような訴えをしていきたい。

問 西原町これまでの現状の件や課題等を含めて、これから地域の活性化につながることで、財政面にも特に町の財政が潤うような、そういった事業の内容を説明した。これまで琉大が首里キャンパスから西原町の今の上原キャンパスに移転してきたときの経緯も踏まえて、どういった思いで西原町が琉大を迎えたのかという内容もしっかり訴えながら、特に地域が活性化し、財源を生むような訴えをしていきたい。

づけになっている。本町においても事業の推進と、本町が要望している沖縄都市モノレールの延伸が後押しされると期待をしている。今後も大型MICEエリアの振興を要請したい。

問 兼久東崎線の道路整備、放置車両の状況
○地域福祉計画の策定について
○西地区区画整理事業と徳佐田地区について

問 保育行政について
待機児童数は、平成30年度から毎年度減少傾向にある。令和3年度は48人まで縮まっているが直近月の人数は。



おおしろう せいいち
大城 誠一 議員

クチン接種を急ぐ必要があると思う。若い世代への接種の計画はどのようになってるのか伺う。

答 福祉部長 本町では、50代以上を対象とした予約受付と同時に受験を控えた高校3年生、中学3年生の予約の受付を開始し、7月27日から40代以上、8月2日より18歳以上、8月10日より12歳以上の全年齢に対象を拡大し、集団接種

問 9月1日現在82人である。

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。



やびく みつる
屋比久 満 議員

町長のトップセールスの実績は!!

（1）ふるさと納税額は。（2）
（3）工業地帯の現状は。

町長 （1）令和2年4月から8月の寄付受入額は、個人151万9千

次年度へ向けた事業について

総務部長 来年の日本復帰50年。町としての事業計画は。

問 総務部長 現時点で計画はない。今後、財源等も含め検討したい。今年延期となった「西原まつり」はどう検討するのか。

総務部長 できる限りこれまで通りの形式で開催を目指す。

問 2ヶ年中止の「海外移住者子弟研修生受入れ事業」は。総務部長 アルゼンチンより1名を受入れる予定で検討する。

問 諸々の総合的に考える計画、次年度計画は、12月に向けて方針を早急に出さないといけないはずだが。



いけい ひろこ
伊計 裕子 議員

国保のコロナ禍における特例減免、昨年度との違い

問 昨年度は国が全て財政支援を行っていたが、今年度は減免総額率によって支援率が違う。町財政への影響はどうか。

福祉部長 本町の補助割合は10分

円、法人40万円で合計191万9千円。対して令和3年4月から8月の寄付受入額は、個人1,798万5千円、法人210万円で合計2,008万5千円有り、1,816万6千円の大増になる。（2）現在、県への開発行為許可申請提出の準備中である。当該企業では今年度内での申請手続き完了を目指し、その後敷地造成工事（3.5ha）に着手予定。（3）令和2年度工業適地動向調査で109社。新たに進出を希望する会社は67件。

西地区区画整理事業を質す

問 （1）1年前と現在の進捗状況は。（2）マックスバリュウ現

に移転した世帯は。（4）同事業の終了年度と何区画の予定か聞く。
建設部長 （1）事業費ベースで令和2年度末49・4%。令和3年度末見込み54・7%の予定。（2）マックスバリュウ・建物所有者・テナント業者11社と現在個別に補償内容及び補償金額を提示し交渉を進めている。（3）事業進捗の遅れが直接の原因か定かではないが、仮住居補償継続中に地区外に住宅新築等をした方がいる。（4）令和8年度事業完了の予定だが、今後の資金、社会情勢の変化等により遅れる可能性がある。仮換地353区画、保留地42区画で合計395区画。
都市整備課主幹 （4）計画人口で1,700人以上増える予定。

道路行政を問う

問 （1）兼久・安室線の進捗状況は。（2）東崎・兼久線の進捗状況と石川文明堂の移転時期を聞く。

建設部長 （1）令和2年度末で事業費ベース6・8%。（2）進捗状況は85・1%。石川文明堂の建物撤去は令和3年9月末完了予定。

その他の質問

○コロナワクチン関連について
○（提案）西地区区画整理事業の地権者に現状の説明会を開催してはどうか？



きな まさもり
喜納 昌盛 議員

町長 日本復帰50周年の記念事業の問題等を含め、しっかりと検討し、12月編成に向け取り組みたい。

町の農政について

問 「西原さわむじマルシェ」が開業して、やがて1年。「うんたま市場」への町内農産物の出荷量、農家数及び「レストラン海縁」での町内

農産物等の使用実績は。一周年の行事は検討されているか。

建設部長 令和2年12月12日のオープンから令和3年8月末までの町内農産物の出荷量の集計値は無し。販売額は2,129万円（全販売額の約34%）。会員数129名。レストランで使用の農産物は全てうんたま市場から購入。管理者は一周年記念イベントをぜひ開催したい意向で、コロナ等を鑑みて可能性等を検討したいのとこの。

琉大病院移転について

問 本土復帰の目玉としての琉球大学の西原町への移転、医学部・病院の開設は我が町にとってある意味大きな財産。跡地利用について町は強

の4を見込んでおり、残りの10分の6については、地方創生臨時交付金を活用する。しかし、本来であれば昨年同様の財政支援をしてもうりたい。

介護施設入所者への補足給付制度変更による影響は？

問 8月から介護施設に入所する低額所得者の食費・居住費などを

減額する補足給付制度が変更されている。部長は、公平性の観点から負担能力に応じた負担と言っていたが全国的には、大変な負担が生じているとの声が聞こえている。町民から大変だという声はないか。

健康支援課長 確かに、これまで減額を受けていた方々が受けられない

町道翁長一号線歩道崩落

問 町道歩道崩落等の影響によって、個人設置のトンブロック擁

壁に亀裂が入り、応急措置として土のうを置く工事がされたが、その後の計画はどうなっているか。

建設部長 現在復旧に向けた調査測量設計を進めている。土のう設置については、被災箇所の二次災害防止対策として、地権者の協力の下、設置した。10月5日の災害査定後、道路復旧

工事を進めながら土のうの撤去を関係者と調整しながら行いたい。

問 翁長一号線の開通見通しを聞く。

建設部長 現在、現況測量及び土質調査を踏まえ、構造物の工法の検討に併せて工事費の算出を行っている。10月5日に国土交通省の災害査定官による査定を受け、施工範囲の確定後、復旧工事に向けて県と調整しながら早めに進めたい。

その他の質問

○認定こども園について
○教育行政について

その他の質問

○町内の耕作放棄地対策、遊休地・荒地地利用活用促進事業の現状
○新しい農地制度の町内の現状
○家畜事業者のそれぞれの件数

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。



まへしろ てつ
真栄城 哲 議員

■保育料減免の判断基準や課題

問 本町の保育料減免措置についてその判断基準を伺う。

福祉部長 国の通知では、市町村

の要請による休園、欠席した場合、日割り計算とされ、その要請の判断とし

■西原東小学校の和式便器から洋式便器へのトイレ改修

問 夏休み期間中に、西原東小学校の1年生の和式便器から洋式便器へのトイレ改善工事が行われた。工事費の総額と工事期間を伺う。

教育部長 洋式便器取替工事費で51万1,500円、トイレブース取

替工事費で113万3,000円、合計が164万4,500円。工事期間は令和3年8月5日から8月23日までの19日間。

問 西原東小学校のトイレについて引き続き改善が必要。文部科学省の補助事業を取り入れ6年生まで洋式トイレへ改善計画を示し実行するべきだが、見解を伺う。



たいら まさゆき
平良 正行 議員

■リサイクルヤードの進捗状況について

問 令和3年度当初予算でリサイクルヤード整備工事費として4千万円が計上されている。進捗状況を伺う。

総務部長 リサイクルヤードの

て明確な基準は定めてない。緊急事態宣言等の発令や県内の感染状況、近隣市町村の状況を踏まえ判断している。

問 これまでの経験の中から独自のガイドラインが必要となってくる。財政当局との調整、保育園や保護者への通知に余裕ができると考える。そういう準備をしっかりとやっていただきたいが。

こども課長 指摘の通り事前準備は必要と考える。近隣市町村の状況も踏まえ、適切また迅速な対応ができるか検討を図りたい。

問 タブレットの活用は 休校時における、タブレット活用状況を伺う。



ながはま ひろみ
長浜 ひろみ 議員

教育部長 西原東小学校は、校舎

の建て替えの検討もあり、補助金返還がないよう、町単費で対応した。来年度以降も同様に対応することを考え、今後の体制と予算の調整を行っていく。なお、西原東小学校を除く小学校3校と中学校2校については、学校施設長寿命化計画の中で事業スケジュールを組み、補助金事業の活用を検討する。

移転地は現在地の3分の2の面積となるため、敷地を有効活用できるように施設の配置案をシルバーと調整している。同時にシルバーの独自事業の場所が確保できるか検討しているところである。

■草、木のリサイクルについて

問 シルバーで処理できないものは、民間業者に搬入していると思うが、これに係る各課の令和2年度の処理量と金額を伺う。

総務部長 7課合わせて、処理量約20万キロ、処理金額約395万円となっている。

問 シルバー人材センターに直径10センチも切れる機械があれば民

教育部長 臨時休業期間中に、健康観察やオンライン朝の会を実施。配布された課題やオンラインドリルに取り組む事ができた。

問 登校するかオンライン授業を受けるか選択できる「ハイブリッド授業」について本町の取組みを伺う。

教育部長 オンライン学習は、児童生徒の心身や特性、状況によっては学校で授業を受ける以上に本人への負担も大きい。また、操作スキルの指導や個別支援を行うことは、教職員にかなりの負担となる。現段階は、休業措置に耐えるため、オンライン授業そのものの準備が最優先と考え急ぎ進めている。

問 西原東小学校は自主財源で対応とのことだが、改善の見通しは。

教育総務課長 今回1階部分のトイレ改修をし、ある程度工期等、事業費が分かった。今後2階、3階、4階は、1階とは工事の内容が変わるところがある。この辺の調査を含め、できれば一編にやりたいが、財政と調整して検討していく。

問 町長の見解を聞く。

町長 各学校の中でトイレがしっかり使えていないという状況。町長就任以来、何とかしたいという中で、今回は単独予算で対応した。予算が幾らぐらいかかるのかという計画を立てないと前に進まない。調査をして、その中で補助事業の活用なのか、単独予算

問業者は処理費として395万円も出さなくてもいいものを出している。シルバーの就業日数も増えてくるし、機械を導入したらどうか。

生活環境安全課長 町のほうも緑のリサイクルをやることについては大変意義深い事業だと考えており、今一度、シルバーと意見交換をしながら、どういった形で役場が負担できるかというのも考えていければと思う。

■生ごみ処理機の導入について

問 ごみ袋の値上げによる収入増は、地域に還元すべきと思う。生ごみ処理機補助金、各地域でリサイクル収集している地域、団体への補助金を復活すべきと思うが、考えを伺う。

要旨

どうしても環境整備に主眼を置きがちだが、子供達の置かれている環境は、学校で学ぶことや楽しい学校活動もままならず、子供達が苦しい思いをして学生時代を過ごすさなければならぬという状況にあることを念頭において、難しいからではなく、懸命に対策を練っていかけるようにしてほしい。そう願う。

その他の質問

- 民間資金等活用事業について
- 監査委員からの是正・改善の内容について
- 治水整備について

での活用がいいのか見えてくる。単純に補助があるからではなく、単独予算の中で、どの程度までは年度で支出ができるのかも含めて検証をする。まず調査から先に手がけたい。

その他の質問

- オンライン授業の取り組み
- ヤングケアラーの実態調査
- コロナ禍のフレイル予防



▲西原東小トイレ

総務部長 生ごみ処理機補助金については、令和2年度までは本町の財政状況により休止していたが、今年度8月から再開している。資源ごみ集団回収奨励金事業については、PDCAサイクルによる事業検証を踏まえ検討していきたい。

生活環境安全課長 生ごみ処理機の補助金は2分の1となっており、2分の1が2万円を超えるときは2万円を補助する。

その他の質問

- シルバー人材センター就業について
- プラスチック資源循環促進法について
- 西原運動公園の清掃について

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。

第6回定例会 令和2年度 決算審査

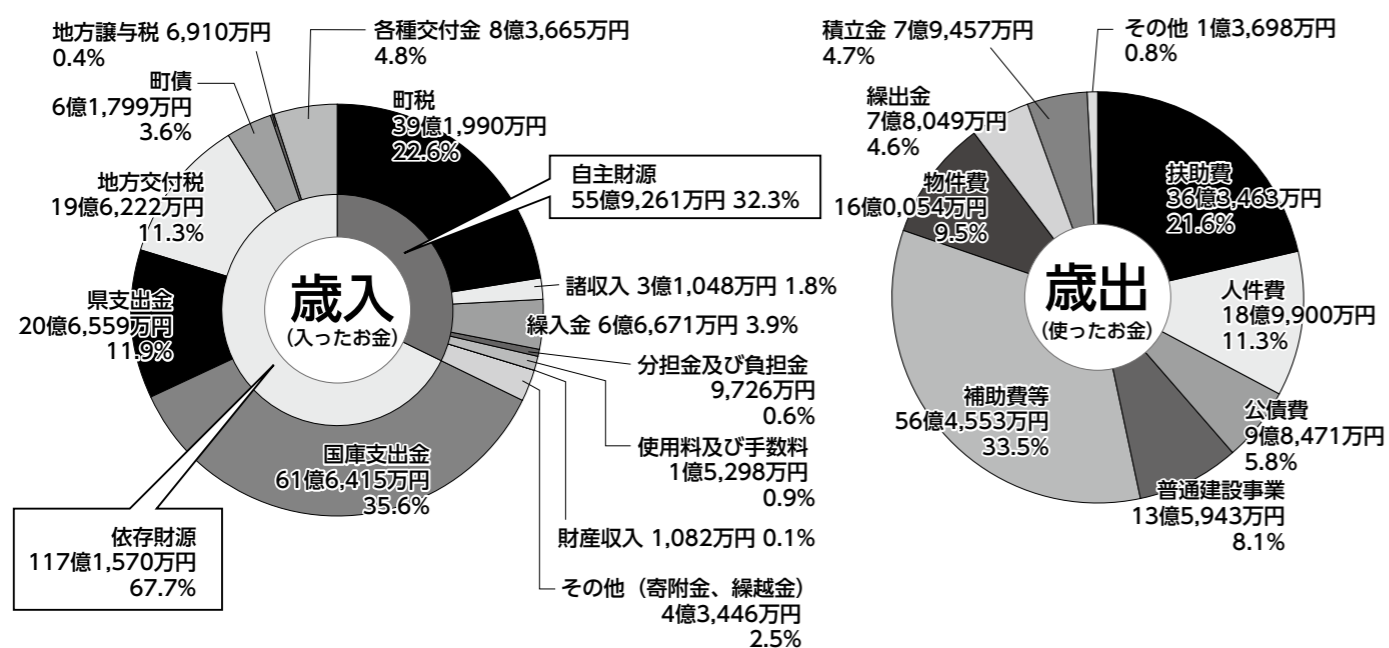


9月10日～9月29日

第6回定例会は、9月10日から9月29日まで20日間の会期で行われ、一般質問、補正予算、条例改正や令和2年度決算などの審議を行いました。

決算では決算特別委員会を設置し、該当事項を所管する各常任委員会に付託し、財務処理の全体を通して、その執行が適正、公平かつ能率的、合理的に行われたか否かの適否を審査しました。その結果、全議案について、全会一致で認定しました。

また、4日間にわたる一般質問では、15人の議員が質問に立ち、コロナワクチンの接種状況やオンライン授業の進捗、土砂災害、認定こども園の創設、西地区区画整理事業など、多岐にわたる活発な論戦を展開しました。



令和2年度 一般会計・特別会計決算の状況

区分	歳入			歳出			
	決算額	前年増減額	前年比	決算額	前年増減額	前年比	
一般会計	173 億 0,831 万円	48 億 0,342 万円	38.4%	168 億 3,588 万円	47 億 4,494 万円	39.2%	
特別会計	国民健康保険	40 億 6,938 万円	8,284 万円	2.1%	47 億 5,180 万円	▲ 9,078 万円	▲ 1.9%
	土地区画整理事業	3 億 0,369 万円	1,571 万円	5.50%	3 億 0,142 万円	1,686 万円	5.9%
	後期高齢者医療	2 億 9,292 万円	1,615 万円	5.8%	2 億 9,224 万円	1,611 万円	5.8%

令和3年 第5回臨時会 議案議決等結果

議案番号	議案内容	結果
議案第39号	工事請負契約締結について (西原町立図書館空調取替工事)	原案可決
議案第40号	令和3年度西原町一般会計補正予算について	原案可決
議案第41号	令和3年度西原町国民健康保険特別会計補正予算について	原案可決
議案第42号	令和3年度西原町下水道事業会計補正予算について	原案可決
議案第43号	令和3年度西原町水道事業会計補正予算について	原案可決

令和3年 第6回定例会 議案議決等結果

報告/認定番号	報告/認定内容	結果
報告第5号	令和3年度西原町教育委員会事務事業の点検及び評価報告書 (令和2年度事業実績) について	報告
報告第6号	令和2年度西原町健全化判断比率の報告について	報告
報告第7号	令和2年度西原町公営企業会計資金不足比率の報告について	報告
報告第8号	令和2年度沖縄県町村土地開発公社事業報告及び決算報告について	報告
報告第9号	令和2年度放棄した債権の報告について	報告
認定第1号	令和2年度西原町一般会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第2号	令和2年度西原町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第3号	令和2年度西原町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第4号	令和2年度西原町土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第5号	令和2年度西原町下水道事業会計決算認定について	認定
認定第6号	令和2年度西原町水道事業会計決算認定について	認定
議案第44号	令和2年度西原町水道事業未処分利益剰余金の処分について	原案可決
議案第45号	西原町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第46号	西原町会計年度任用職員に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第47号	西原町ふるさとづくり寄附金条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第48号	西原町都市公園条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第49号	西原町固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第50号	西原町手数料徴収条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第51号	令和3年度西原町一般会計補正予算について	原案可決
議案第52号	令和3年度西原町国民健康保険特別会計補正予算について	原案可決
議案第53号	令和3年度西原町土地区画整理事業特別会計補正予算について	原案可決
議案第54号	令和3年度西原町一般会計補正予算について	原案可決
議案第55号	動産の取得について (学校教職員在宅勤務環境整備事業テレワーク端末調達)	原案可決

西原
独自

地方創生臨時交付金・西原町新型コロナゆいまーる募金を活用した

新たな新型コロナウイルス感染症対策

水道基本料金 3ヶ月間の全額免除

<事業費 5,500 万円>

新型コロナウイルスの収束が見込まれないため町民の皆様と町内事業所への支援策の一環として、水道料金の基本料金を免除。

- 一般世帯と事業者合わせて約 1 万 4,500 件
- 免除の申請手続きは不要
- 水道基本料金の 3 か月間の免除

(令和 3 年 8 月検針分から同年 10 月検針分)



国民健康保険税の減免の延長

<事業費 1,075 万円>

令和 2 年に続き、世帯の主たる生計維持者が収入減少した場合、保険税を減免します(条件あり)。

- 申請期限 令和 4 年 3 月 15 日まで
詳しくは、HP をご確認ください。



国保税減免について

フードバンク事業 (食料支援)

生理用品無償配布

西原町社会福祉協議会連携事業

<事業費 100 万円>

町社会福祉協議会を通じて、新型コロナウイルスの影響でアルバイト等の収入が減った学生や食べる物にお困りの学生、緊急食糧支援や新型コロナウイルス感染症により自宅療養を余儀なくされている方へ食料品等の支援を実施。また、コロナ禍の長期的不況による経済的困窮で、生理用品が十分に購入できない方へ生理用品を無償提供。

「西原町新型コロナ ゆいまーる募金」活用事業

- ◆お問い合わせ
西原町社会福祉協議会 TEL: 098-945-3651



第 2 回 西原町がんばる事業者応援金給付事業

<事業費 5,779 万円>

申請期限：令和 3 年 12 月 20 日

昨年の第 1 回に続き、新型コロナウイルスの影響で売上が減少した町内の中小企業者・個人事業者を支援するため、沖縄県感染拡大防止対策協力金及び沖縄県大規模施設等協力金の対象外となっている事業者に対して、『第 2 回西原町がんばる事業者応援金』を給付。

- ◆ 1 事業者あたり 法人：20 万円、個人事業者：10 万円
- ◆ 第 1 回の応援金を受給した事業者も対象となります。
- ◆ 申請は、原則として郵送又は電子メールにて提出
- ◆ 第 1 回応援金および本応援金は、翌年の申告対象です



詳しい申請の手引きは
こちらから ▶▶▶



みなさんからの 陳情・意見書・決議 はこうなりました

9 月定例会・臨時会で審査した陳情・意見書・決議の結果を報告します。

陳情第 869 号	辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決すべきとする意見書の採択を求める陳情	「新しい提案」実行委員会		配布
陳情第 870 号	地元産品奨励及び地元企業優先使用について (要請)	西原町商工会	本会議即決	採択
陳情第 871 号	県産品の優先使用について (要請)	公益社団法人沖縄県工業連合会他 4 社	本会議即決	採択
陳情第 872 号	インボイス制度 (適格請求書等保存方式) の導入中止を求める陳情書	沖縄県商工団体連合会	建設産業常任委員会	審議未了
陳情第 873 号	コロナ禍のもとで子どもたちおよび女性の健康と学習権を守るため、学校等公的施設のトイレに生理用品を配備し、その予算化を求める要請	新日本婦人の会・沖縄県本部	総務財政常任委員会	採択
陳情第 874 号	公営住宅の入居に保証人を不要とする条例改正等を求める陳情書	沖縄県司法書士会		配布
陳情第 875 号	車輻減速用路面標示・カーブミラー設置及び外灯設置助成金要請について	我謝自治会	建設産業常任委員会	継続審査
陳情第 876 号	「重要施設周辺及び国境離島等における土地等の利用状況の調査及び利用の規制等に関する法律」の即時廃止と臨時的対応を求める陳情書	土地規正法の廃止を求める沖縄県民有志の会		配布
陳情第 877 号	令和 4 年度理科教育設備整備費等補助金予算計上について のお願い	公益社団法人日本理科教育振興協会	本会議即決	採択

〈継続審査分〉

陳情第 856 号	安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための陳情書	沖縄県医療福祉労働組合連合会	文教厚生常任委員会	採択
陳情第 867 号	「現物給付」への国のペナルティ全廃と 18 歳まで子ども医療費無料制度実現 子ども医療費無料制度の改善を求める陳情書	子どもの医療費無料制度を広げる沖縄県民の会	文教厚生常任委員会	採択

〈意見書・決議〉

意見書第 9 号	安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための意見書	文教厚生常任委員長	文教厚生常任委員会	原案可決
意見書第 10 号	「現物給付」への国のペナルティ全廃と 18 歳まで子ども医療費無料制度実現 子ども医療費無料制度の改善を求める意見書	文教厚生常任委員長	文教厚生常任委員会	原案可決
意見書第 11 号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書	3 常任委員長	本会議即決	原案可決
意見書第 12 号	沖縄県管理河川等の定期的な維持管理を求める意見書	3 常任委員長	本会議即決	原案可決
意見書第 13 号	地滑り調査基準の見直し及び危険性の高い地域の調査を求める意見書	3 常任委員長	本会議即決	原案可決
意見書第 14 号	米軍基地における P F O S 等を含む処理水の公共下水道への放出に関する意見書	3 常任委員長	本会議即決	原案可決
決議第 3 号	崎原町長に対して議会の権限を侵害した町政運営に厳重注意する決議	3 常任委員長	本会議即決	原案可決
決議第 4 号	町内の治水対策における調査を求める決議	3 常任委員長	本会議即決	原案可決
決議第 5 号	米軍基地における P F O S 等を含む処理水の公共下水道への放出に関する抗議決議	3 常任委員長	本会議即決	原案可決

議会活動

総務財政常任委員会

総務財政常任委員会（真栄城 哲委員長）は7月28日、委員会を開催し、本町の防災及び災害対策について事務調査を行いました。担当部署（生活環境安全課、土木課）に対する聞き取り調査により、組織体制や災害時のガイドライン、今後の治水対策及び計画等について確認しました。



▲総務財政常任委員会の様子

建設産業常任委員会

建設産業常任委員会（大城 純孝委員長）は、6月21日に委員会を開催し、池田自治会より町へ整備要望のある里道現場の視察を行い、役場担当部署（土木課）より状況説明を受けました。町内の全体的な里道整備に関しては、先の6月定例会において西原町自治会長会から陳情第863号「里道整備に関する請願書」が提出されていました。（6月定例会において同陳情は審議未了。）また、6月の大雨による池田地内の土砂崩れ箇所の視察も行いました。



▲池田地内里道



▲池田地内土砂崩れ

議員報酬等調査特別委員会

議員報酬等調査特別委員会（宮里 洋史委員長）は9月7日、委員会を開催し、今後の本町議会議員報酬についての議論をスタートしました。議会活性化調査特別委員会から議論を引き継ぎ、議員のなり手不足の解消と住民自治の充実を図っていくことを目的に調査・研究を行っていきます。

インターネットで議会を身近に!!

西原町議会のホームページでは、本会議や一般質問の動画録画配信、会議録やこれまで発行した議会だよりなどを公開しています。「傍聴に行く時間は、なかなか取れない」という方、パソコン、タブレット、スマホからインターネットで手軽にアクセスできます。ぜひ、ご利用ください。

西原町議会

検索



表紙QRコードからもアクセスできます

題字制作者



西原南幼稚園
あだにや はな
安谷屋 花さん
【ひとこと】
一生懸命書きました。
好きな食べ物はチキンの唐揚げとバニラアイスだよ。

表紙の題字と写真を

お寄せください

あなたの作品を議会だよりに掲載しませんか？

表紙の**題字**（『議会だより』の文字。横書き）と**写真**を募集しています。うまいへたは関係ありません。こどもから大人まで、生き生きとした題字と写真をお待ちしています。

送付先 議会事務局（担当：漢那）

TEL 945-5122 FAX 945-5045
mail: gikai_jimu@town.nishihara.okinawa.jp

9月議会の傍聴者

延べ人数

9人

議会だよりに対するご意見、ご要望等はこちらへ
西原町議会事務局
TEL:098-945-5122

議会広報調査特別委員会
委員長 伊集 悟

新年度から各学校で「地域とともにある学校」づくりを推進するコミュニティ・スクールが開始する。西原町の宝として子どもたちを応援したいと思います。

本町の子どもたちは、コロナ以前から自己肯定感の低さが課題だった。今回のコロナ禍の影響を懸念していた矢先、今年の全国学力テストの調査では、自己肯定感が大きく改善されていた。喜ばしいことだ。保護者や学校、地域が、子どもたちのことを思い、あらゆる愛情を注ぎ、効果的な関わりを持ったのだろうか。推察する。

国立成育医療研究センターの調査によると、子どもたちの15%〜30%に中等度以上のうつ症状がみられたという。感染の不安をはじめ、さまざまな活動を制限された子どもたちに大きなストレスがかかっているのだろう。

子どもに大きな影響を及ぼしているという。長期化するコロナ禍は、子どもたちの暮らしを一変させた。私たちが暮らしを一変させた。長期化するコロナ禍は、子どもたちに大きな影響を及ぼしているという。

しずやね